

共に学ぶ



学校へ行こう

はやし あきひろ
 校長 林 昭広

全校生徒数 486人
 男子:244人 女子:242人
 問合せ ☎62-8050

中央小

地域の人々から学ぶ

中央小学校は、開校以来、地域の人々から伝統文化を学ぶことを通して、子どもたちに「地域を愛する豊かな心を育てていく」ことに力を入れています。

三河万歳

開校当時は、子どもたちが、岩堀公民館で三河万歳保存会の皆さんからご指導をいただいていた。昭和59年度に三河万歳クラブが発足し、今に至るまで29年間に渡って地域の皆さんから指導を受けています。

毎年、学芸会で披露するだけでなく、幸田産業まつりや、しだれ桜まつり、そして、町内の老人福祉施設を訪問して稽古の成果を披露しています。2005年に開催された愛知万博でも幸田町の文化を広

めるために披露しました。

子どもたちは、講師さんを「師匠」と、練習を「けいこ」と呼んでいます。



▲「しだれ桜まつり」で講師の皆さんと

「けいこ」では、「七福神の舞」のつづみの打ち方や歌い方、そして振りをお師匠さんたちに教えていただいています。

けいこは大変ですが、お師匠さんたちがいてねいに教えてくださるので、がんばろうと思います。老人ホームなどで披露すると、おじいさんやおばあさんが「ありがとう」「とてもよかったです」と泣きながら言ってくれることがあります。(児童の日記より)

凧つくり

幸田町は昔から、凧揚げが盛んな地域で、昭和52年からは、菱池の地で凧揚げまつりが開催され、今に至っています。中央小の凧クラブは、幸田の伝統文化となつている凧作りの技術と凧揚げのおもしろさを児童に教えるために、平成元年度に発足しました。講師の古田さんは、クラブ発足以来24年に渡り、指導してくださっています。

クラブの時間には、古田さんの指導のもと、小凧・中凧を作っています。古田さんは凧作りの技術を子どもたちに伝えていこうという思いで指導し続けてくださっています。凧は作る過程でのバランスや糸の調節で揚がり方が変わります。そこがおもしろさだとおっしゃっています。

凧つくりはふくせつので、一つまちがえると飛ばなくなったりします。特に大凧はとても大変ですが、大空に舞い上がると、とてもうれしくなります。(児童の日記より)

ほかに、茶道クラブやゲートボールクラブが地域の皆さんを講師に招いています。また、茶道クラブは「しだれ桜まつり」の際に会場でお手前を披露しています。

多くの地域の皆さんのおかげで、中央小の児童が伝統文化に触れることができています。伝統文化が時代を超えて受け継がれていくことを願っています。



▲「中央小凧、揚がれ！」



正楽寺
【水彩画】

先生から 奥行きを感じられる構図で正楽寺を描くことができました。絵の具で色をぬる時も、薄い色でぬり、影を濃淡で表すことができました。



6年
おおすか まな
大須賀 真奈 さん



けんばんハーモニカを
ふくわかちゃん
【クレヨン画】



2年
はせべ ゆうな
長谷部 優菜 さん

先生から けんばんハーモニカをふく友達をよく見てかけました。画面いっぱい書いてあっていいです。洋服は細かいところまでしっかりかけました。



農業 ^{ひらいわ のぼる} 平岩 登 ^{さん}

私は3日間、柿やいちごなどを作っている平岩さんにお世話になりました。いろいろな作業の中で、特に印象に残っているのは、梨の袋かけの作業です。ものすごい広さの梨園に、ものすごい数の梨の木が植わっていました。作業では、優しく袋をかぶせるようにと注意されました。梨を守るためにしっかりとかぶせないと、また同じ作業をしなければならぬと、言われ、首や足が痛くなってきたり、も気が抜けないことができて



ませんでした。平岩さんやパートの皆さんは、こんな地道で大変な作業を毎日やっていてすごいと思いました。翌日、昨日かけたはずの袋が破かれて下に落ちていました。なぜかと尋ねると、「カラスが破いてしまう。」と言われまして。カラスが人の捨てたコンビニの袋と梨の袋を間違えて中身をあさろうとするのだそうです。「人間がこうするように仕向けたんだ。」とおっしゃっていました。私は、改めて人間がやったことは、必ず人間に返ってくるのだと思いました。私は3日間の農業の体験を通して、自然を相手にする農業の大変さと、「働く」ということは、自分の生活のためだけではない

なく、人と人が協力して生きていくために欠かせないことなのだと思ふようになりました。自分も将来働くようになってから、自分のためだけでなく、社会のために働きたいです。



中学生

職場体験
レポート



『働く意味』

職場体験実施日：平成23年6月14日・15日・16日



幸田中 3年
しらとり ひわこ
白鳥 日和子さん

町民会館・図書館・町民プール
ハッピーネス情報

ハッピーネス・ヒル・幸田
ホームページ

<http://www.happiness.kota.aichi.jp/>

点字絵本製作体験「点字絵本をつくろう！」

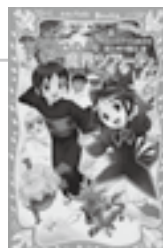
とき 8月2日(木)、3日(金) 全2回 午前10時30分～正午
ところ 町立図書館2階 会議室
内容 絵本に点字を付け、目が不自由な人でも読めるようにして図書館で所蔵します。
対象 小学校4年生～高校生
参加費 無料
定員 16人 *先着順
申込み 7月14日(土) 午前9時から電話 (☎63-0001) で受け付けします。



この本読みました

おっことチョコの魔界ツアー

令丈ヒロ子、石崎洋司 / 作 講談社



荻谷小6年
みやた もえ
宮田 桃衣 さん

この本は、「若おかみは小学生」シリーズと「黒魔女さんが通る」シリーズがコラボした本です。印象に残った所は、忘却魔法でおたがいのことを忘れていたのに、再会したらおたがいのことを思い出したところです。

7・8月の
休館日
(7/16~8/15)

町民会館(☎63-1111) 7/17(火)、7/23(月)、7/30(月)、8/6(月)、8/13(月)
図書館(☎63-0001) 7/17(火)、7/23(月)、7/30(月)、8/6(月)、8/13(月)
町民プール(☎56-8111) 7/17(火) 夏休み期間中は無休です。